

支部活動交流のひろば

会員提案で「新年会」を開催

岩槻支部 事務局長 渡辺喜久男 岩槻支部では奇数月は支部会議、偶数月は学習会を開催して来ました。会員より会議も重要であるが、新年会の開催が提案されました。本年1月18日に日本料理「ふな又」で12時より昼食を兼ねた新年会を12名参加で開催しました。最初は新規入会の方の紹介と岩槻支部が41名の会員になったことを報告し、美味しい料理と和やかな会話でお酒無しの新年会は終了しました。また、2月の学習会は岩槻区市議選をテーマで開催を予定しています。

新年の「支部会議」

春日部支部 支部長 福家駿吉 1月18日、7名で会議を開き、新年の挨拶を交わしました。昨年1年を振り返ると、同盟会員八名、署名は75筆(5月の国会請願以後)、当日も別に事務局次長が20筆集めてきました。

会員拡大も署名集めも、いずれも、民主主義を守る運動や映画「伊藤千代子」の取り組みのなかで進められたものです。支部会議では県の方針を報告し、県総会に向けて、署名は一人10筆、会員は一人が一人にあたることにしました。午後からは場所をかえて9名参加の新年会。換気し、マスクを着用して、各々が、国賠同盟の今日的役割やこの間の活動の経験語り合い、危険な岸田政権をやめさせ、一斉地方選挙に勝利しようという意義ある時を過ごしました。

新加入同盟員紹介 1名

出合 鷹己(さいたま市南区)

国会請願署名推進コーナー

【個人署名】 (449筆)

- 林登美男(狭山市) 154筆
佐藤俊也(東松山市) 10筆
高田哲郎(小鹿野町) 15筆
小池三枝子(北区) 15筆
富士見平和委員会戦争歴史展 33筆

【団体署名】 (5団体)

- 全日本年金者組合深谷支部
新日本婦人の会三郷支部
同 浦和支部
同 北部地区委員会
日本共産党西南地区水野支部
同 岩槻支部
同 行田・羽生支部
同 春日部支部

年末募金ありがとうございました

- 佐藤修一、村崎政幸、須田真明、金子敏江、足立志津子、林登美男、清子、松川康子、柴山たか子、大野辰男、大和田哲、岡寄郁子、埼玉県商工団体連合会、川越・東松山民主商工会、税理士法人税制経営研究所、大久保賢一法律事務所、弁護士法人西むさし法律事務所

同 川越法律事務所、けやき総合法律事務所、埼玉中央法律事務所、埼玉土建一般労働組合、同 川越支部、川越地方労働組合連絡協議会、日本共産党埼玉県委員会、同 東部南地区委員会、同 東部北地区委員会、同 中部地区委員会、同 西部地区委員会、同 西南地区委員会、同 西部地区委員会、同 北部地区委員会、同 南部地区委員会、同 さいたま地区委員会 (敬称略・1月末日現在)

「年末財政活動」への協力に感謝申し上げます

11月に加藤ユリ会長の「年末財政のお願い」を会員の皆さんにお出ししたところ大勢の皆さんから、会費と募金が寄せられました。数年間の会費未納分を振り込んでくれた方もおり、心からお礼申し上げます。また、協力団体の皆さんには「年末募金」をお願いし、快く応じてくださり感謝申し上げます。お陰様で年末募金は、ほぼ目標を達成することができました。また、22年度会費納入は、昨年を上回り、70数%の到達です。納入されていない方は、年度末(3月末)までには納入して下さる様重ねてお願い致します。



「不屈」No584付録 埼玉版 (No412)

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 埼玉県本部 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル3B 電話・Fax 048-824-0094 chian2022@gmail.com

〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

国賠同盟の存在意義をかけ、「戦争国家づくり」許さない運動の先頭に立ってたたかおう!

加藤ユリ会長は、年頭のあいさつで、今年は、「国賠同盟の存在意義をかけ、『戦争国家づくり』許さない運動の先頭に立ってたたかおう!」と呼びかけました。

12日、オール埼玉総行動の呼びかけに応じて開催された「新春デモ」に、同盟埼玉県本部は、「再び戦争と暗黒政治を許すな!」「大軍拡より平和外交を!」と大書した3メートルもの新調した「横断幕」を掲げ、デモの第2梯団の先頭に立って行進しました。他団体の参加者からは「国賠同盟は凄い!目立っている!」の声も寄せられました。

1月11日に開催された日米両政府による「安全保障協議会」(2プラス2)は、南西諸島の日米共同基地化を



「同盟」のノボリ、横断幕を掲げ、「新春デモ」第2梯団の先頭に立つ

熱風

テレビを点けるとウクライナの戦況が目に見え、ロシアは民間施設は砲撃していないとうそぶくが、民間人の死者は、少なくとも7036人うち子ども433人(国連・1月15日時点)になるといふ。今月24日、ロシアがウクライナ侵略を始めてから1年になるが、戦争の終結は見えてこない。ウクライナの国の花はひまわりである。以前観たイタリア映画「ひまわり」は、ウクライナで撮影され、戦争がもたらす悲劇を名優ソフィア・ローレンが演じた「反戦映画」だが、ひまわり畑にたたずむ彼女の姿を思いだしながら、ウクライナにどうしたら平和が戻るのか考える。戦争は始めるのは簡単だが、終わらせるのは難しい。とよく言われる。要は「戦争を起こさせない」外交的努力が一番大事である。ヨーロッパには、ロシアを含めてすべての国を包摂した欧州安保協力機構(OSCE)があるが、機能させることができなかった。外交の失敗を教訓にして、ロシアの起こした侵略戦争は、「国連憲章違反だ」と国際社会が一致して声を上げ、ロシアを包囲して行こう。(森)

映画「わが青春つきるとも」上映コーナー

私も一言



「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯〜 上映を終えて  
東アジアの平和を考える市民の会代表 嶋田道雄

埼玉「5千人鑑賞」で目標を突破！  
目標引き上げ、第3次上映運動成功へ  
一昨年8月、県実行委員会を立ち上げ、「県内30ヶ所五千人」の目標を掲げて取組みを開始。昨年4月から始まった「上映会」は、皆さんのお力添えでこの間、第一次上映運動で7ヶ所2431人、第二次12ヶ所2809人、合計19ヶ所5240人と、鑑賞者数では「参加目標」を突破しました。

しかし、埼玉県には63自治体があり、まだ3割埋めたに過ぎず、また人口も全国で5番目の730万人を有する大きな県でもあるので、観賞者の目標をもっと引き上げて行く必要があります。5月から第三次運動がはじまります。近い内に実行委員会も開いて、埼玉として中間総括もしながら、今後の「上映運動」方針を確立して参りましょう。特に若い人に観てもらいたいことも含めて…。

長野県諏訪地方を訪れたのは1977年の夏でした。当時、大学3年の私は明治維新から敗戦までの日本経済史を労働者の視点から学ぶゼミに入り、合宿で岡谷蚕糸博物館を訪れました。富国強兵・殖産興業と侵略戦争に進む日本の近代化を支えたのが蚕糸業でした。ゼミの最初の教材は山本茂美著「ああ、野麦峠」、貧しい山村の娘たちが口減らしのため低賃金、長時間労働、劣悪な環境下で懸命に働いていました。

伊藤千代子の故郷も諏訪地方でした。2022年4月に熊谷市内の団体が協力し上映会組織を作り、多くの方々の支援でどうか、8月11日「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯〜午後・夜間2回上映で400人以上の参加がありました。この映画を知ったのは、2021年8月末深谷市のロケ地を巡る集会に参加したことです。5月行田上映会で初めてこの映画を見ました。共産党員の映画だと言う方もいますが、侵略戦争に向かう体制と闘ったのは共産党だけです。私たちの先人にこのような方がいたことは誇りに思います。

上映会事務局長を無事終了後、自身が代表を務める東アジアの平和を考える市民の会主催11月5日「抗い、記録作家林えいだい」の上映準備が待っていました。戦前の朝鮮人強制連行・強制労働を歩いて記録した彼の生涯を追ったドキュメンタリー映画です。炭鉱から逃亡した朝鮮人を囲まっていたために憲兵の拷問で亡くなった父の姿が活動の原点。時の権力者は自分の都合の良いように歴史を書き換える、それを許さないために弱い立場の者から歴史を見て記録していく。上映会には多くの方々に参加していただき感謝の気持ちです。

私が地元の戦前加害の歴史に関心を持ち調査するようになったのは、故林氏のほかに関東大震災時熊谷住民に虐殺された朝鮮人犠牲者の慰霊祭を1957年(昭和32年)から亡くなる1990年(平成2年)までひとりでやっていった故矢野泰助氏、関東大震災朝鮮人虐殺や朝鮮人強制連行を調べていた県立熊谷女子高故石田先生との出会いがあります。思えばこのような先人の方々の思いを自分なりに引き継いでいければと考えています。

秩父事件探訪

第17回 森田稲蔵の墓碑 篠田健一

嘉永四年三月生まれ。事件当時三二歳で大工。家族は妻と娘二人。

大野福次郎の勧めで困民党に加入し、福次郎と共に村民四九名を自由党に加盟させている。福次郎が長瀬側風布を、稲蔵は寄居側風布を担当した。この加盟書類は『秩父事件史料集成』(二玄社)第一巻に収録されている。

稲蔵は下吉田村椋神社の蜂起から小鹿野、大宮郷、皆野村に進軍したのち、菊池貫平



隊に加わり、群馬県の山中谷に進み、十国峠を越えて長野県佐久に進出。終始、弾薬及び兵糧運搬の指揮をとった。明治一七年一月九日、東馬流での高崎鎮台兵との戦闘から海ノ口へ進み、そこで逃走して帰村の途中、群馬県南甘楽郡野栗沢村で捕縛される。明治一八年一月二〇日、前橋重罪裁判所から重禁固二年六月の判決を受けた。風布村・金尾村の旗揚げの地であった金毘羅神社近くに居住していたため、稲蔵宅は事件参加者の集合場所となった。稲蔵は出獄後、ミカン栽培に尽力して「風布ミカン」の土台を築いた。今も子孫の方がミカン園を営んでいる。【交通】秩父鉄道波久礼駅下車、徒歩60分

顕彰コーナー

戦争に傾斜する今の時代に 山本宣治の生き方に学ぶ 行田・羽生支部が、東京山宣会長を講師に「学習会」開催

治安維持法国賠同盟行田羽生支部は、1月21日(土)9時半から行田市コミセンで、東京山宣会の永島民男会長を講師に迎えて、第五回支部総会、記念学習会が開催され、会場一杯の24名の参加で熱気ある集いになりました。

永島会長の講演は、「戦争に傾斜する時代、先駆者・山本宣治の生き方に学ぶ」の演題で行われ、講演レジュメ4枚と学習テキストとして「唯生唯戦」山宣に学ぶ時代の生き方(東京山宣会発行)にも触れ、また、貴重な山宣史料なども紹介しながらの熱の入った約一時間の講演となりました。

永島会長は冒頭、「戦争遂行・国民弾圧に最後の最後まで抵抗した山宣の



講演する永島民男 東京山宣会会長

同盟文芸

短歌

訪問で強張りし顔類笑まむ 党が伝わる心通う時

春日部市 細谷 宣朗

台湾に生まれし友人永住しおり 有事は滑稽と親交あたたむ

川口市 宮地 さか枝

俳句

山茶花や寒さ知らぬげほ笑める

春日部市 浅子 薫衣

冬空や薔のみ数多柿大樹

春日部市 大野 辰男

冬茜平和を守るピラ配り

行田市 さいたま市 小池 莊市

「戦前」にX記す筆や多喜二の忌

春日部市 福家 駿吉

川柳

被爆者のこころを足蹴維新の核

春日部市 福家 駿吉

きな臭い霞が関から永田町

姿を知ると新鮮で清々しい思いがする」との山宣を学んだ方の感想を述べながら、「山宣一人孤塁を守る。だが私は淋しくない。背後には多数の大衆が支持しているから…」、この有名な言葉のなかには彼の信念と覚悟、民衆への信頼・期待が詰まっている。彼は、まさに民衆のための学者であり、民衆のための政治家だった」と強調。いまの時代に「山宣」から何を学ぶかを深めてほしいと波乱万丈の40年近くの生涯を語りました。

記念講演後、参加者からの質問・交流タイムも取り、講演の感想も出しながら交流しました。参加者からは、「山宣の名前は、聞いた事があるが、今日の講演は、凄く学ばされ楽しかった」「武器なき闘いの映画をぜひ、支部でも上映会を開いて欲しい」など、学習を力に、署名と会員拡大で頑張る決意が語られました。



「東京山宣会」発行 頒価 500円

\* 注文は、「県本部」まで